

須江丘陵の窯址群

平成2年

8/31▶9/30

観覧時間 / 9:00~16:30

観覧料金 / 無料

休館日 / <9月>3・10・17・25日

主催 / 石巻文化センター・河南町教育委員会

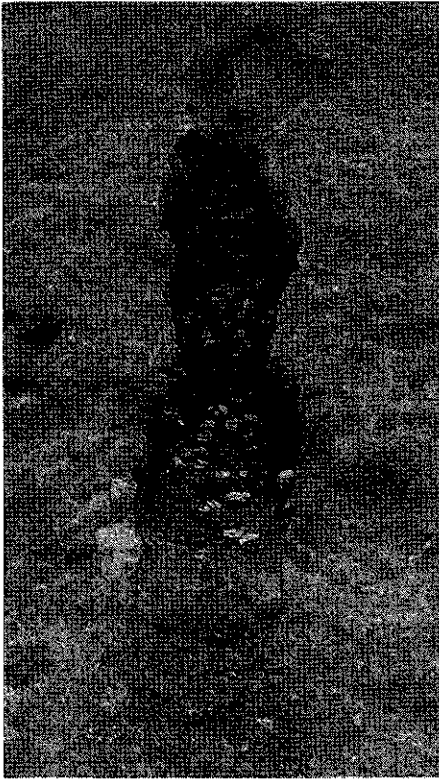
後援 / 河北新報社・石巻新聞社・石巻日日新聞社

三陸河北新報社・NHK仙台放送局

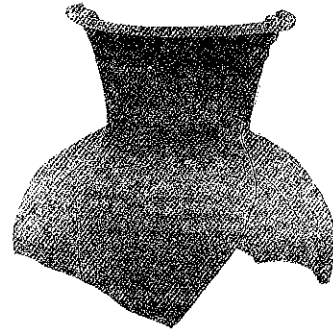


石巻文化センター

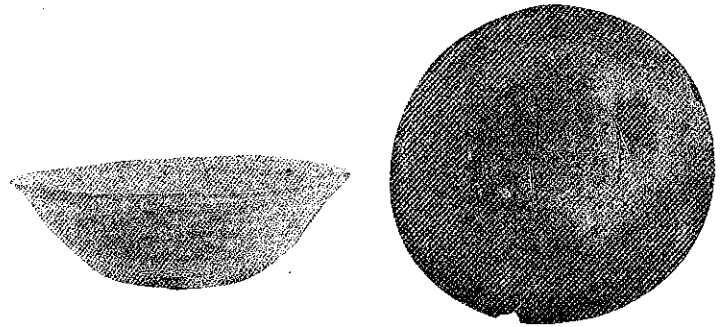
〒986 石巻市南浜町一丁目7-30 TEL 0225-94-2811(代)



▲関ノ入・2号須恵器窯全景



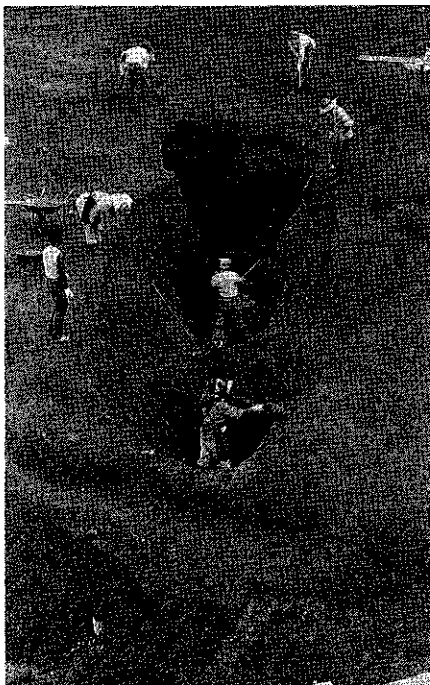
▲関ノ入・1号須恵器窯出土の須恵器壺



▲関ノ入・3号須恵器窯出土の須恵器坏

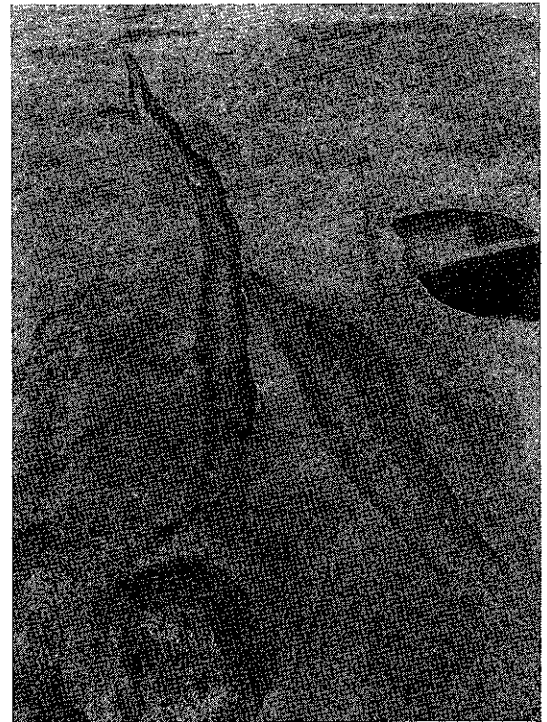
開催趣旨

石巻市から河南町にかけてまたがる須江丘陵には多数の古代窯址があり、昭和61年度からの発掘調査により、9世紀から10世紀を中心とした須恵器の窯址群が明らかになっている。同丘陵はおそらく古代、陸奥海道地方における最大級の窯址群分布地域と考えられる。今般の展示は、これら発掘調査により発見された遺構や遺物を中心に、古代石巻地方の生産遺跡の実態を探る。



◀関ノ入 粘土採掘坑跡

深さ4 m以上に掘られた粘土採掘のための坑である。関ノ入地区からは、この採掘坑を含め6ヶ所の採掘坑跡が検出されている。



▲粘土精製用土壌

粘土採掘坑跡の周辺には、この様な土壌が数基検出されている。これは、その内部の堆積土の状況等から、粘土の精製に使用されたものと考えられる。